

# 2025年 Spatial Biology! 第2回 真の空間シングルセル解析技術 セミナー

オールインワン蛍光顕微鏡 x 60種類のタンパク質

Sejal Mistry, et al  
Analysis of FFPE tumor tissues  
using CODEX®

日時

2025年5月19日(月) 16:00~17:00  
( Zoom webinar )

プログラム

～ 高解像度のオールインワン蛍光顕微鏡を用いた  
プロテオミクス解析に焦点 ～

本セミナーでは下記の技術の原理、使用例などをご説明いたします。

## 1, 導入費用対効果の高いキーエンス BZ-X800/BZ-X800Lの様々な使い道

演者：山下琢美 株式会社キーエンス マイクロスコープ事業部 東京営業所  
(BZシリーズ担当営業、ユーザーサポート歴12年)

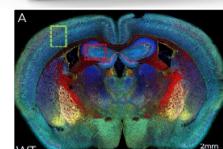
暗室不要のオールインワン蛍光顕微鏡として、日本、海外でも導入実績多数あり、圧倒的な操作性、対応用途の幅広さから、多くの研究機関の共通機器や、研究室単位でも多数導入いただき、研究、実験の効率化に貢献しております。コンパクトな本体ながら、高解像度タイリング、SIMによる3D解析、ライブイメージング、プレートスクリーニング等、幅広い用途に対応し、フェノサイクラーの撮影装置としても複数台実績をいただいております。また、当該撮影以外の実験テーマにも利用いただけるため、導入費用対効果を得られやすくなっております。今回は、製品概要と、組織切片に加えて、ウェルプレートアッセイやライブイメージング、細胞レベルでの微細領域のイメージング等、最新の撮影解析事例を紹介いたします。



## 2, AKOYA PhenoCycler® システムを用いた空間プロテオミクス解析

演者：太田 嘉一 バイオストリーム株式会社 アプリケーション担当

近年、位置情報を利用して細胞間・領域間の相互作用を予測する、いわゆる“Spatial Biology”が重要視されるようになってまいりました。PhenoCyclerシステムは凍結切片またはFFPE切片を用いて、シングルセルレベルの解像度で細胞内外の～60種類のタンパク質を同時に解析することができるシステムであり、癌や様々な組織の微小環境の解析に応用することができます。本セミナーでは PhenoCyclerシステムの原理と概要、アプリケーションを中心に説明いたします。



WT  
Multiplexed imaging of the healthy mouse brain.

お申し込み

- 下記のURLもしくは右記QRコードより申し込みフォームにアクセスしてください。
- オンライン会場はZoomウェビナーを使用します。
- 事前に参加登録をお済ませください。

<https://bit.ly/biosteam002>

